

平成15年度の実績

ベルマーク教育助成財団の平成15年4月1日から平成16年3月31日までの第14期第3年度の実績は次の通りです。

(1) 参加団体の集票点数

平成15年4月から平成16年3月までの1年間の集票点数は5億6,985万6,633点で計画点数を約6,000万点下回りました。有力協賛会社の脱退によるものです。運動開始以来の累計は211億2,845万余点になります。

(2) 設備購入金額

ベルマーク資金で学校がこの1年間に設備品を購入した金額は6億4,126万8,992円でした。累計は193億4,200万余円になります。

(3) 参加PTA数の変動

この1年間に参加PTAは209校増え、平成16年3月末現在、28,022校・園に達しています。世帯数では、約907万世帯になります。参加児童・生徒数は約1,025万人で、1世帯1人強の割合になっています。なお、参加幼稚園・保育園は5,139園です。

年度末の学校種別（幼稚園を除く）の参加数、参加率と増加数は次の通りです。

	(参加数)	(全国総数)	(参加率)	(増加数)
小学校	14,968	23,633	63.3%	89
中学校	6,715	11,134	60.3%	60
高校	1,179	5,450	21.6%	16

(4) 教育助成事業

平成15年度は、次のような設備品などを、国内と海外の援助対象に贈りました。

[国内援助]

へき地学校＝110校に視聴覚備品やスポーツ用具、少年少女向け年鑑を贈りました。都道府県教育委員会に援助対象校の選定を依頼し、財団から対象校に贈呈品リストを示して、希望の教材備品を選んでもらいました。

このほか、教育援助（ソフト援助）として17校を対象に一輪車の一流選手による講習会を実施しました。また、科学技術振興機構の協力で、23校を対象に理科の実験教室を開催しました。児童劇団「東少」による演劇公演「ベルマーク劇場」は全国6カ所で開催しました。前年度新たにスタートした「走り方教室」は北海道、沖縄など5カ所で、イラストレーターによる絵画教室（お絵かき体験塾）は4校を

対象に、それぞれ実施しました。

養護学校＝２７校に希望する教材備品類を贈りました。

盲学校＝２２校に拡大読書器を贈りました。

ろう学校＝１６校に音声言語学習機を贈りました。

病院内学級＝８校の病院内学級に対してパソコンの自学・自習システムを贈りました。

[海外援助]

(１) 日本人学校

１５の補習授業校に希望の教材備品を贈りました。

(２) 発展途上国援助事業（括弧内は実施団体）

アフガニスタン教育支援（日本ユネスコ協会連盟）	３００万円
ザンビア保健教育支援（家族計画国際協力財団）	２００万円
ラオス・カンボジアに絵本を届ける事業（シャンティ国際ボランティア会）	３０３万円
ケニアに小学校教室建設（アフリカ地域開発市民の会）	２００万円
カンボジア教育復興事業（日本ユニセフ協会）	１００万円
ラオスの学校に図書室を作る事業（ラオスのこども）	１１０万円
フィリピン「子供の森」計画支援（オイスカ）	２００万円
東チモール保健教育支援（シェア国際保健協力市民の会）	２００万円
カンボジア学校校舎建設（千代さんスクール記念基金）	１００万円

[友愛援助]

平成１４年度に呼びかけた第５回友愛援助に対して２１７校から５３７万円の拠出の申し出があり、これに財団の資金を加え総額９００万円の事業費で、以下の５事業を１５年度の「友愛援助」として実施しました。

「アフガニスタン教育支援」「ザンビアの保健教育支援」「カンボジア教育支援」「ラオスの学校図書室整備」「フィリピンの子供の森計画」

(５) 協賛・協力会社

平成１６年４月１日現在で協賛会社は５５社、協力会社は２３社です。